



新体制で迎えた 2026 年開幕戦
レース2で2位表彰台を獲得

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE
第1戦 もてぎスーパー耐久 4 Hours Race

2026年3月21日(土)～3月22日(日) モビリティリゾートもてぎ(栃木県)
入場者数: 3月21日: 7,500人 3月22日: 6,000人

Super Taikyu 
Japanese Endurance Race

■ PRACTICE スポーツ走行 / STMO 専有走行

3月19日(木)～20日(金)

天候: 晴れ/雨～曇り 路面: ドライ/ウエット

2025年は惜しくもタイトルには届かず、捲土重来を期する2026年、TKRIは体制も新たに王座を目指して臨む。メンテナンスをキムインターナショナルに変更したほか、ドライバーラインアップも変更。速さでチームを牽引してきた元嶋佑弥が復帰し、DAISUKE、片岡龍也、中山友貴と4人でシーズンを戦う。

そんなシーズンの開幕戦となった第1戦の舞台は、モビリティリゾートもてぎ。ST-Xクラスは土日で4時間レースを2回も戦う変則的なレースウィークだ。特別スポーツ走行や専有走行もグループ1/2どちらも走ることができる。DAISUKEにとっても走り慣れたコースではあるが、今季もST-Xクラスは激戦が予想される。晴天に恵まれた3月

19日(木)の4回の特別スポーツ走行から、TKRI松永建設 AMG GT3は積極的に周回を重ね、週末に向けた準備を進めていった。

ただ、走行2日目となる3月20日(金)は、朝から小雨が舞い、少しずつ雨脚が強まりウエットコンディションとなってしまった。

TKRI松永建設 AMG GT3は、午前の専有走行こそウエット路面でのデータ収集やDAISUKEの習熟も兼ねて走行したが、ダンブ路面となった午後はドライバーチェンジの練習を兼ね、アウト～インを各ドライバーが行いそのまま走行を終えることになった。

ST-Xクラスは予想どおり僅差。TKRIは週末、まずはそれぞれがベストを尽くすべく準備を整えた。



QUALIFY 公式予選

3月21日(土)

天候：晴れ 路面：ドライ

迎えた3月21日(土)は、早朝午前8時から公式予選を迎えた。前日の悪天候から一転、晴天に恵まれたが風が強く、肌寒いコンディションとなった。

まずAドライバー予選に臨んだのはDAISUKE。早めのタイミングでアタックラップに入っていき、着実にタイムを上げ1分51秒013というタイムを記録するが、ライバルたちが速い。Aドライバー予選では4番

手につけることになった。Bドライバー予選でも片岡が1分48秒376の記録タイムを記録するが3番手。合算でレース1は3番手からスタートを切ることになった。

この日は午後にはすぐ決勝が控えており、C/Dドライバー予選はひとつのセッションに。元嶋、中山とも決勝レースを見据えつつきっちりとタイムを記録し、公式予選を終えることになった。



RACE 1 決勝レース1

3月21日(土)

天候：晴れ 路面：ドライ



公式予選終了後からわずか2時間45分ほどのインターバルで迎えた決勝レース1。新たな体制となったTKRIにとっては初の決勝だが、TKRI 松永建設 AMG GT3のスタートドライバーは、過去に何度もそのスピードで序盤にポジションを上げてきた元嶋だ。今回もスタート直後、一気に2番手に浮上してみせた。ただ、トップを走る#33メルセデスは圧倒的なペースを誇り、ジワジワと元嶋とのギャップが開いていった。

このレースはST-X、ST-1の下はST-3～ST-5クラスの混走。そのためか、序盤からトラブルによるストップ車両が多く発生しており、フルコースイエロー (FCY) が頻発する。FCYを見越してピット作業を行うことができれば、大きくタイムを稼ぐことが可能だ。トップを走っていた#33メルセデスは、序盤のFCYのタイミングでピットインを行うなど戦略でも攻めの姿勢をみせる。結果的に#33メルセデスのピットインは失敗に終わり、元嶋はトップに浮上した。

元嶋はその後も着実にラップをこなし、36周を走りピットイン。中山にステアリングを託した。その後もレースはFCYが数多く出ることになるが、チームは機をうかがいながらもレースを進めていった。

中山は38周を走りピットに戻るようになるが、ふたつ隣のピットだった#44メルセデスがトラブルのためピットレーンを占めており、ピットインの好機をやや逃すことになってしまっていた。結果的にこのわずかな遅れがライバルとの差に繋がってしまう。

中山から交代したのはDAISUKE。序盤から好走をみせた元嶋と中山の頑張りを活かすべく、DAISUKEも全力でレースラップを刻んでいくが、コクピット内でDAISUKEは苦闘していた。この日のモビリティリゾートもてぎは3月らしい陽気となっていたが、DAISUKEのステントでは雲が増え、急速に気温、路面温度が下がり始めた。

コース上にはレース後半になっても多くの車両が走っており、TKRI 松永建設 AMG GT3はレース中ややレコードラインを外さなければならないが、路温の低下により他車のタイヤカスがタイヤ表面についてしまうピックアップと呼ばれる症状が出始めてしまった。大きな振動やグリップの低下を強いられてしまうが、この症状から脱するためには、勇気をもって攻めなければカスは取れない。「失敗でした」とDAISUKEは自ら反省する苦しいステントとなってしまった。

DAISUKEはなんとか32周に渡る自らの義務走行時間を終えるとピットイン。最後は片岡がステアリングを握りピットアウトした。

この時点でTKRI 松永建設 AMG GT3は3番手につけていたが、レース終盤、大きくペースが異なる#33メルセデスが急速に接近。片岡をオーバーテイクしていった。

レース1では、トラブルに見舞われた#44メルセデスがレースを終えていたこともあり、4台での争いとなっていたが、TKRI 松永建設 AMG GT3はそのまま4位でフィニッシュすることになった。

開幕表彰台を獲ることができなかったのは悔しいところではあるが、とはいえ今季新体制となったTKRIにとって、初めてタイヤ交換を行うメンバーもいたほか、作戦面も改善の余地はあったが、大きなミスなくレース1を走り切ったことは収穫といえた。

翌日にはすぐにレース2がやってくる。TKRIは初日のレース1で得た反省をレース2に活かすべく、入念に準備を進めた。



RACE 2

決勝レース 2

3月22日(日)

天候：晴れ 路面：ドライ



レース1から一夜明け、迎えた3月22日(日)。晴天に恵まれ暖かなレース日和となったが、多くのファンで賑わうなか、午後0時に決勝レース2のスタートを迎えた。この日はレース1の順位のリバースというスターティンググリッドが採用される変則的なものとなったが、元嶋は1周目からきっちりとST-1車両をオーバーテイク。ST-Xクラストップの#44メルセデスを3周目にかわし、トップに躍り出た。後方には#777フェラーリが続くも、元嶋はギャップを築いていった。

元嶋はその後もペース良く、2番手の#777フェラーリに35秒ほどのギャップを築くと、34周を終えてピットイン。TKRI松永建設AMG GT3はタイヤ無交換作戦を採り中山に交代していった。

序盤の元嶋の頑張り、そしてそしてタイヤ無交換作戦によってTKRI松永建設AMG GT3はレース中盤までに大きなリードを保つことができるはずだったが、スタートから1時間過ぎ、チームの計画を狂わせるアクシデントが起きた。ST-2クラスの車両がV字コーナー立ち上がりでストップし、漏れた油脂類が

コースサイドのグリーンに引火。わずかに火災が発生してしまった。

この処理のため、レースは2回目のFCYが導入された後、セーフティカーに切り替えられた。これで中山の-marginは大きく削られることになってしまった。

中山は40周目のリスタート後もトップを守っていたが、後方からハイペースで追いつけてきた#33メルセデスにピタリとテールにつかわれてしまった。

なんとかトップを守ったまま中山はレースのちょうど半分となる2時間というタイミングでピットイン。DAISUKEに交代し、フルサービスで送り出した。このレース2は前日よりスタート時間が早く、気温もまだ高い。また大きくラインを外す必要も少ない。ピックアップの不安は少なく、DAISUKEは前日の悔しさを取り戻すべく、力走をみせていった。

そんな中、ST-Xクラスは前日のウィナーである#31RCFが59周を終えてガレージイン。これでTKRI松永建設AMG GT3は表彰台圏内を確実にしていった。あとはいかに良い順位でフィニッシュするかだ。

前日とは異なり、DAISUKEはこの日は安定したペースで周回を重ねていった。1分54秒台のラップを重ね、燃料が軽くなったスティント終盤には1分53秒台、さらに52秒台に入れる走りを披露。3番手につけていた#777フェラーリがペースに苦しんでいたこともあり、2番手を確実なものとしていった。

#777フェラーリは終盤までピットインを引っ張り、タイヤ交換を行いピットアウトしてきたが、TKRI松永建設AMG GT3は54秒ほどのリードを守っており、片岡は最後までマージンをキープ。そのまま2位でフィニッシュし今季初表彰台を獲得してみせた。

レース1では新体制で着実に完走することができたが、レース2ではさらにそれをブラッシュアップし、チーム一丸となってポジションを上げることができた。

しかし優勝には手が届いていないことも事実。このレース2で優勝を飾った#33メルセデスは強力なパッケージを持っている。

悲願のチャンピオン、そして優勝を飾るためには、チーム全体の成長が欠かせない。全員が4月に行われる第2戦鈴鹿に向けて新たな闘志を燃やした。



DRIVERS / DIRECTOR VOICE ドライバー&監督コメント



DAISUKE DAISUKE

レース1ではピックアップをなかなか取ることができず、大失敗のスティントになってしまいました。自分が敗因のようなものだったと思います。レース2ではコンスタントに走ることができましたが、スティント終盤に少し接触してしまい、ご迷惑をかけてしまいました。また次なる課題として、燃料が重いときの走り方があると思いますね。この開幕戦に向けギリギリ体制を作ることができましたが、なんとか表彰台に乗ることができたので、この勢いを繋げていきたいですね。



片岡 龍也 TATSUYA KATAOKA

レース2ではセーフティカーで損をするところなどもありましたが、DAISUKE選手が格段にペースを上げることができていましたし、2位を余裕をもって得ることができた要因だったと思います。トップは速かったですが、今日できることはできたと思います。この週末、2レースがある中で、新人メカニックたちもすごく良い仕事をしてくれましたし、第2戦鈴鹿、そして第3戦富士24時間と続いています。かなりハードなので、まずは良い出だしにできたのではないかと思います。



中山 友貴 YUHKI NAKAYAMA

レース1では少し欲をかってスティントを引っ張った結果、あまり良いリザルトに繋がりませんでしたが、今日は少し短めにカットしてDAISUKE選手に繋ぐことができました。レースペースも改善しましたし、ミスなく次にバトンを繋ぐことができました。ただ、優勝にはあと一歩足りていないのは悔しいところですし、次戦の鈴鹿も路面改修を受けているので、未改修部分とのギャップなども感じ取りながら、しっかりクルマを合わせ込んでいきたいと思っています。



元嶋 佑弥 YUYA MOTOJIMA

レース2では、トップに出ることができればクリアだと思っていたので、頑張っただけギャップを作ること意識していました。それはできたと思うのですが、セーフティカーでなくなってしまったので、それは残念ですね。しかしレース1でうまくいかなかった作戦もレース2ではリカバーできたと思います。DAISUKE選手のペースもすごく良かったので、それが表彰台に繋がったと思います。鈴鹿に向けてしっかり準備して、チャンピオン争いでも上位に付けていきたいですね。





SUPER TAIKYU 2026 ROUND.1 RESULT

リザルト



Eneos スーパー耐久シリーズ2026 Empowered by BRIDGESTONE 第1戦

スーパー耐久公式予選 A Driver 2026 / 3 / 21

Table with columns: Pos, No, Class, CP, A Driver, CarName, Best Time, Gap, Lap. Lists race results for Class A.

Start Time: 08:00-09:00, Finish Time: 08:00-09:00. Includes race details and class information.



Eneos スーパー耐久シリーズ2026 Empowered by BRIDGESTONE 第1戦

スーパー耐久公式予選 B Driver 2026 / 3 / 21

Table with columns: Pos, No, Class, CP, B Driver, CarName, Best Time, Gap, Lap. Lists race results for Class B.

Start Time: 08:00-09:00, Finish Time: 08:00-09:00. Includes race details and class information.



Eneos スーパー耐久シリーズ2026 Empowered by BRIDGESTONE 第1戦

スーパー耐久公式予選 C-D Driver 2026 / 3 / 21

Table with columns: Pos, No, Class, CP, C Driver, D Driver, CarName, All Best Time, Gap, BL, C/D Driver, Best Time. Lists race results for Class C-D.

Start Time: 08:00-09:00, Finish Time: 08:00-09:00. Includes race details and class information.



Eneos スーパー耐久シリーズ2026 Empowered by BRIDGESTONE 第1戦

スーパー耐久公式予選 2026 / 3 / 21

Table with columns: Pos, No, Class, CP, CarName, A Driver, B Driver, Total Time, A Driver, B Driver, Best Time. Lists race results for the main event.

Start Time: 08:00-09:00, Finish Time: 08:00-09:00. Includes race details and class information.



SUPER TAIKYU 2026 ROUND.1 RESULT

リザルト

ENEOS スーパー耐久シリーズ2026
Empowered by BRIDGESTONE 第1戦

3.21 SAT. 22 SUN. もてぎスーパー耐久 4Hours Race

スーパー耐久 Race1 決勝

2026 / 3 / 21

MOTEGI
Road Course(4,801m)

ST-X 結果表

Weather :Fine
Track :Dry

Pos	No	CarName	Lap	Total Time	Delay / Gap	A Driver	Lap	A. Best	B Driver	Lap	B. Best	C Driver	Lap	C. Best	D Driver	Lap	D. Best	
1	31	DENSO LEXUS RC F GT3	122	4:01'17.915		永井 宏明	31	1'51.501	廣生 尚弥	35	1'49.848	小河 諒	36	1'50.367	嵯峨 宏紀	20	1'51.504	
2	777	D'station Ferrari 298 GT3	122	4:02'26.828	1:08.913	1:08.913	星野 敏	30	1'52.835	藤井 誠輔	53	1'50.081	上村 優太	39	1'50.321			
3	33	Craft Bamboo Racing Mercedes-AMG GT3	122	4:02'25.408	1:17.691	8.578	SUN JINGZU	30	1'53.437	本田 裕之進	60	1'48.668	FONG AODERLY	32	1'50.382			
4	23	TKR私水建設AMG GT3	122	4:02'40.749	1:22.834	5.343	DAISUKE	32	1'54.037	片岡 龍也	16	1'49.260	中山 友貴	38	1'50.810	元嶋 佑弥	36	1'50.074
***** 以上完走 (規定周回数 ST-X : 88Laps) *****																		
44	TEAM POP RACE AMG GT3 EVO	73	2:33'54.082	49Laps	49Laps	齋藤 太吾			LEE MARCHY			YAN ANDY	41	1'51.529	TUNG Hop-in	32	1'51.512	

Fastest Lap

1:48.868 (125 / 123) 159.059 km/h 33 JINGZU/本田 AODERLY / Craft Bamboo Racing Mercedes-AMG GT3

Start Time :13:48'09 Finish Time :17:50'26

FCY

14:25'04 (19 laps) - 14:28'04 (19 laps)
14:39'25 (25 laps) - 14:40'56 (26 laps)
15:33'12 (53 laps) - 15:35'40 (54 laps)
15:45'02 (59 laps) - 15:45'51 (59 laps)
15:51'07 (62 laps) - 15:56'26 (63 laps)
16:06'31 (68 laps) - 16:08'14 (68 laps)

PENALTY

Car No. 33: ドライブスルーペナルティ(2026モビリティリゾートもてぎ白輪一般規則書 第27条 ~5)「黄旗区間の進路禁止」(裁定 17:19)

ENEOS スーパー耐久シリーズ2026
Empowered by BRIDGESTONE 第1戦

3.21 SAT. 22 SUN. もてぎスーパー耐久 4Hours Race

スーパー耐久 Race2 決勝

2026 / 3 / 22

MOTEGI
Road Course(4,801m)

ST-X 結果表

Weather :Fine
Track :Dry

Pos	No	CarName	Lap	Total Time	Gap	A Driver	Lap	A. Best	B Driver	Lap	B. Best	C Driver	Lap	C. Best	D Driver	Lap	D. Best	
1	33	Craft Bamboo Racing Mercedes-AMG GT3	124	4:01'32.329		SUN JINGZU	31	1'51.142	本田 裕之進	57	1'49.603	FONG AODERLY	36	1'49.723				
2	23	TKR私水建設AMG GT3	123	4:01'59.090	1Lap	1Lap	DAISUKE	32	1'52.477	片岡 龍也	32	1'49.823	中山 友貴	25	1'50.822	元嶋 佑弥	34	1'49.491
3	777	D'station Ferrari 298 GT3	123	4:02'51.248	1Lap	52.158	星野 敏	33	1'52.869	藤井 誠輔	34	1'51.322	上村 優太	56	1'50.455			
***** 以上完走 (規定周回数 ST-X : 88Laps) *****																		
31	DENSO LEXUS RC F GT3	59	1:59'33.411	65Laps	64Laps	永井 宏明	32	1'51.385	廣生 尚弥			小河 諒	5	1'51.483	嵯峨 宏紀	22	1'51.413	
44	TEAM POP RACE AMG GT3 EVO	40	1:24'18.834	84Laps	19Laps	齋藤 太吾	32	1'51.733	LEE MARCHY			YAN ANDY			TUNG Hop-in	8	1'52.501	

Fastest Lap

1:49.491 (30 / 123) 157.854 km/h 23 DAISUKE/片岡/中山/元嶋 / TKR私水建設AMG GT3

Start Time :12:04'30 Finish Time :16:08'02

FCY

13:12'20 (36 laps) - 13:18'36 (37 laps -SC切替) - 13:25'06 (39 laps -SC解除)
15:34'43 (107 laps) - 15:37'04 (108 laps)